

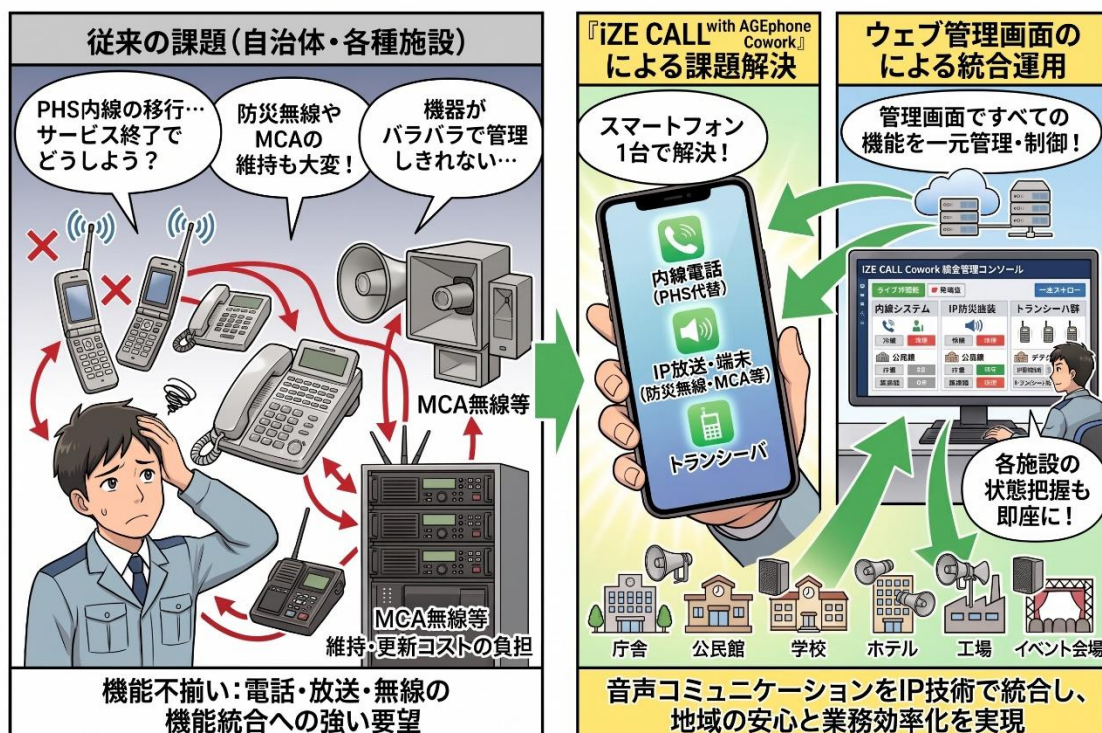
内外線電話や防災・館内放送等の機能を統合した AI 対応クラウド IP-PBX 「iZE CALL with AGEphone Cowork」と「IP オーディオ」が連携 同報無線設備を介さず、内線から屋内外スピーカーへの音声放送に成功

～ 音声コミュニケーションを IP 技術で融合し、自治体の内線や防災行政無線等の統合運用を目指します ～

音声コミュニケーションのすべてを IP 技術で実現することを目指す株式会社アイズ(以下「アイズ」)と株式会社 ageet(以下「ageet」)は、IP 技術を活用したスピーカーやマイク等の開発・製造・販売を手がける TOA 株式会社(以下「TOA」/兵庫県神戸市)のご協力のもと、2026 年 8 月、TOA の研究開発拠点「ナレッジスクエア」で、標題の接続検証を実施しました。

本検証では、アイズの AI 対応クラウド IP-PBX サービス「iZE CALL with AGEphone Cowork」と、TOA の「IP オーディオ」シリーズ機器を、ネットワーク(インターネットを含む)経由で接続しました。その結果、内外線電話としての通常利用に加え、防災放送に活用できる複数の IP スピーカーに対し、従来の同報無線設備を介さず「iZE CALL with AGEphone Cowork」のみで、一斉放送およびグループ別放送を高音質かつ遅延を感じることなく、安全かつ正常に行えることを確認しました。

本検証の成果は、全国の自治体が直面する「PHS 内線や MCA 無線のサービス終了等に伴う移行」と「防災行政無線の老朽化および高額な維持・更新費用」「不揃いな操作性」といった複数の課題に対し、有力な解決策の一つになると考えています。



接続検証の概要

実施日	2026年8月18日
実施場所	TOAの研究開発拠点「ナレッジスクエア」(兵庫県宝塚市)
検証構成	【IP-PBX】アイズ「iIZE CALL with AGEphone Cowork」(クラウドサービス) 【アプリ】ageet「AGEphone Cowork」(スマートフォン用 IP 内線アプリ) 【放送機器】TOA「IP オーディオ」シリーズ(IP スピーカー、IP リモートマイク、IP 音声インターフェース等各種機器)
確認事項	スマートフォンの内線アプリから暗号化された通信を用いて、クラウド上の IP-PBX を介して複数の IP スピーカーに対し、同時に正常に放送が行えること

本検証により、これまで個別に構築・維持されてきた「電話(内外線)システム」「屋外子局による防災行政無線」「館内放送」を、同一の IP/クラウド環境上で連携運用できる技術的可能性を確認しました。通信回線を統一することで、インフラ全体のコスト削減が見込めます。さらに、災害時にはモバイル回線や衛星インターネットへ切り替えることで情報提供を継続できる可能性や、スマートフォンならではの機動性を活かし、現地からの肉声を届ける「即席ミニ放送局」のような運用への発展も期待されます。

TOA からの接続検証後のコメント

アイズの新サービス「iIZE CALL with AGEphone Cowork」は、一般的なクラウド型 IP-PBX とは一線を画すサービスです。複数の SIP セッションを多数の IP オーディオシリーズの IP スピーカーへ同時接続できる「放送サーバー機能」を搭載しており、弊社 IP オーディオとの高い連携性を確認できました。この「放送サーバー機能」を防災放送に活用することで、自治体全域への一斉放送だけでなく、ハザードマップの危険度に応じて、必要なエリアへ必要な情報を的確に届ける運用が可能になります。さらに、線状降水帯の発生など状況が変化した場合でも、リスクが高まった地域へ迅速に避難を呼びかけるなど、TPO に応じたきめ細かな放送への活用が見込まれます。

背景:自治体が抱える「PHS 移行」と「防災無線」の課題

全国の自治体では、PHS 内線のサービス終了や機器の老朽化に伴い、スマートフォンを活用した IP 内線等への移行が急務となっています。一方、防災行政無線や MCA 無線は、専用設備や親局装置の維持・更新費用が財政負担となっており、また、「設置場所に固定された操作卓からしか発信できない」といった運用面の課題も指摘されてきました。アイズと ageet は、PHS 内線の代替となるスマートフォンでの IP-PBX 機能と、インターネットを含む通信回線経由で IP スピーカーへ直接音声を届ける IP 放送(SIP 技術)機能を融合させることで、低コストかつ機動性の高い放送・通信インフラの開発を進めてきました。

本ソリューションにおける各社の強みと役割

1. 株式会社アイズ — AI 対応クラウド IP-PBX「iIZE CALL with AGEphone Cowork」の提供

スマートフォンを内線端末および放送端末として活用し、従来の放送設備や交換機(PBX)の役割をクラウド上に集約したサービスとして提供・販売します。高音質・低遅延の放送機能と電話機能に加え、AI 受付対応や AI 議事録・要約といった AI 機能までをオールインワンで提供し、大幅なコスト削減に貢献します。

2. 株式会社 ageet — 高性能内線アプリケーション「AGEphone Cowork」の開発

長年にわたり培ってきた VoIP 技術を基盤に、職員のスマートフォンから簡単な操作で対象の屋外スピーカーやグループを指定し、SIP による高音質な放送を行うためのインターフェースとアプリケーション制御を提供します。

想定する自治体での活用シーン

■ PHS 内線の代替 + 防災無線のモバイル化

職員が携行するスマートフォンの専用アプリが、「PHS 内線に代わる内線電話」と「放送卓(端末)」の役割を担います。普段の電話発信と同様の操作で、対象の屋外子局(IP スピーカー)等へ放送できます。災害時には、庁舎外にいてもデータ通信が確保できれば、どこからでも防災行政無線に相当する放送が可能です。現場の職員や自治会長等が、その場から地域住民へ肉声で一斉放送・地区別放送を行うこともできます。

■ 放送用親局設備や専用回線の削減による大幅なコスト削減

従来必要だった高額な送信機や親局、専用の無線周波数帯・通信回線が不要となります。光回線、LTE/5G、衛星インターネットといった汎用通信網を利用できるため、インフラの設計・導入・保守にかかる費用の大幅な削減が期待できます。

■ 日常的な地域・校内・施設内放送への活用

自治会のお知らせ放送、学校の校内放送、公園・スポーツ施設・観光地での案内やイベント放送など、平常時の音声伝達インフラとしても活用できます。放送設備の設置場所まで移動する必要がなく、出張先や外出先からでも手軽に利用できます。

今後の取り組み

アイズと ageet は、本接続検証の結果を踏まえ、全国の自治体に向けた実証実験と導入提案を推進していきます。また、既存の防災行政無線用アナログスピーカー設備を活用した、段階的な IP 化の提案も進めてまいります。「電話(内外線)」と「放送(平時・非常時)」の垣根を越え、あらゆるシーンでコストを抑えながら安心して利用できる音声コミュニケーション基盤の実現に取り組んでまいります。

各社について

● 株式会社アイズ

「誰もが、安心して ICT が利用できること」を旨として、次世代の ICT 利用環境の実現に向けたコンサルティングとソリューション提供を行っています。主力サービスは法人向け次世代クラウド PBX「iZE CALL with AGEphone Cowork」です。

所在地:三重県伊勢市有滝町 2250 番地／代表者:代表取締役 川邊 浩(泰志)／創業:2000 年 5 月 1 日

URL:<https://www.ize.co.jp/>

● 株式会社 ageet

1997 年の創業以来、SIP/VoIP 技術を中核に、PC・スマートフォン向け音声アプリケーションの開発と SaaS の運用を手がけています。NTT 東日本・NTT 西日本の公式推奨 VoIP アプリにも認定されています。

所在地:京都府向日市寺戸町修理式 13-98／代表者:代表取締役社長 岡崎 昌人／設立:2005 年 7 月 26 日

URL:<https://www.ageet.com/>

本件に関するお問い合わせ先

株式会社アイズ	担当:川邊 電話:050-3111-7700(平日 10:00~17:00) (音声アナウンスの担当者名で「かわべ」とお話しください。) メール:call@ize.co.jp
株式会社 ageet	担当:磯野 お問い合わせ: https://www.ageet.com/contact.html

※ 記載されている会社名、製品名、サービス名は、各社の商号、商標または登録商標です。